2023年度の放出計画

測定・確認用設備であるK4エリアA～C群のタンクに貯留しているALPS処理水から放出します。
中でも、国際原子力機関（IAEA）が分析したB群を最初に放出します。

海水で700倍以上に
希釈することで
1,500ベクレル/ﾘｯﾄﾙ未満に

放出			トリチウム濃度	トリチウム総量
①	B	約7,800m3	14万ﾍﾞｸﾚﾙ/ﾘｯﾄﾙ	1.1 兆ﾍﾞｸﾚﾙ
②	C	約7,800m3	14万ﾍﾞｸﾚﾙ/ﾘｯﾄﾙ	1.1 兆ﾍﾞｸﾚﾙ
③	A	約7,800m3	13万ﾍﾞｸﾚﾙ/ﾘｯﾄﾙ	1.0 兆ﾍﾞｸﾚﾙ
④	K4エリアE群 K3エリアA群	約4,500m3 約3,300m3	※ 17~21万ﾍﾞｸﾚﾙ/ﾘｯﾄﾙ	1.4 兆ﾍﾞｸﾚﾙ※

第1回放出後、空になったK４エリアB群に移送

2023年度放出　トリチウム総量　約 5 兆ﾍﾞｸﾚﾙ

年間放出基準　トリチウム総量　22兆ﾍﾞｸﾚﾙ

※タンク群平均、2023 年 7 月 1 日時点までの減衰を考慮した評価値

2023年度の放出実績

ALPS処理水の海洋放出の状況は以下の通りです。

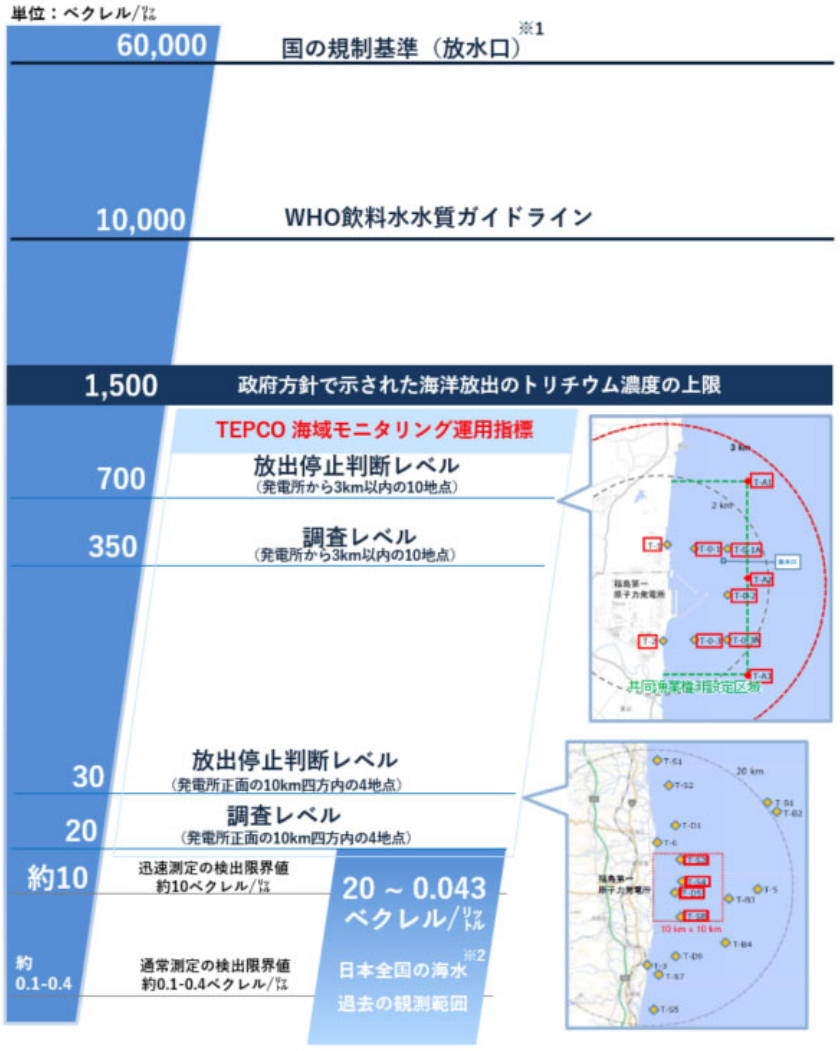
測定・確認用設備の分析日時	タンク群	トリチウム濃度	トリチウム以外の放射性物質の濃度	放出開始	放出終了	放出中の希釈倍率	希釈後のトリチウム濃度※1	処理水の放出量	トリチウム総量
2023年6月22日	B群	14万ベクレル/ﾘｯﾄﾙ	告示濃度比総和 規制基準 0.28 ＜ 1	2023年8月24日	2023年9月11日	約800倍	160～200ベクレル/ﾘｯﾄﾙ	7,788m^3	約1.1兆ベクレル
2023年9月21日	C群	14万ベクレル/ﾘｯﾄﾙ	告示濃度比総和 規制基準 0.25 ＜ 1	2023年10月5日	2023年10月23日	約800倍	150～170ベクレル/ﾘｯﾄﾙ	7,810m^3	約1.1兆ベクレル
2023年10月19日	A群	13万ベクレル/ﾘｯﾄﾙ	告示濃度比総和 規制基準 0.25 ＜ 1	2023年11月2日	2023年11月20日	約800倍	150～180ベクレル/ﾘｯﾄﾙ	7,753m^3	約1.0兆ベクレル
2024年2月26日	B群	17万ベクレル/ﾘｯﾄﾙ	告示濃度比総和 規制基準 0.34 ＜ 1	2024年2月28日	2024年3月17日	約800倍	170～230ベクレル/ﾘｯﾄﾙ	7,794m^3	約1.3兆ベクレル

※1　海水配管にて採取した試料のトリチウム濃度です。

海域モニタリング結果（海水トリチウム濃度）

	エリア	測定点	迅速測定結果
第1回	発電所から3km以内	10地点	検出限界値未満～最大10ベクレル/ℓ
	発電所正面の10ｋｍ四方内	4地点	検出限界値未満
第2回	発電所から3km以内	10地点	検出限界値未満～最大22ベクレル/ℓ
	発電所正面の10ｋｍ四方内	4地点	検出限界値未満
第3回	発電所から3km以内	10地点	検出限界値未満～最大11ベクレル/ℓ
	発電所正面の10ｋｍ四方内	4地点	検出限界値未満
第4回	発電所から3km以内	10地点	検出限界値未満～最大16ベクレル/ℓ
	発電所正面の10ｋｍ四方内	4地点	検出限界値未満

【参考】海水のトリチウム濃度比較



※1：原子力施設の放水口から出る水を、毎日、その濃度で約２ℓ飲み続けた場合、一年間で１ミリシーベルトの被ばくとなる濃度から定められた基準
※2：出典「日本の環境放射能と放射線」（期間：2019/4～2022/3）